

## 非常時の持出品を用意しましょう

### 非常用持出品の例

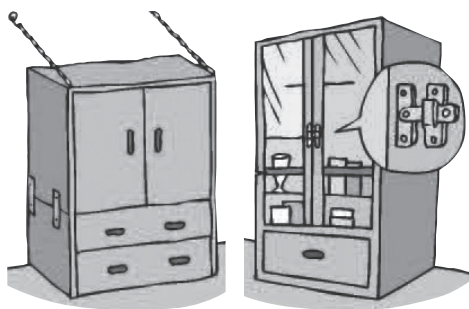
<p><b>貴重品</b></p>  <p>現金、通帳類、印鑑など</p>	<p><b>衣類</b></p>  <p>下着・上着、タオル、軍手など</p>	<p><b>救急医薬品</b></p>  <p>ばんそうこう、包帯、消毒薬など</p>
<p><b>携帯ラジオ</b></p>  <p>予備電池を多めに用意</p>	<p><b>懐中電灯</b></p>  <p>できれば家族1人につき1つ用意</p>	<p><b>食品</b></p>  <p>缶詰など、そのまま食べられるもの</p>
<p><b>水</b></p>  <p>家族全員で最低3日は持つように</p>	<p><b>燃料</b></p>  <p>卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料など</p>	<p><b>その他</b></p> 

# 備える

高台避難場所に着いても、すぐに救助が受けられるとは限りません。けがをしてしまったときに、治療を受けられない可能性もあります。いざというときのために、家族全員・最低3日分の食料や救急医薬品などを準備し、すぐに持ち出せる場所に配置しておきましょう。

また、津波の主要原因である地震が発生したときに、揺れて倒れた家具の下敷きになって逃げ遅れる可能性もあります。避難する準備が万端でも、家から出ることができなければ避難はできません。室内の家具などに危険な状態になっているものがないか確認し、避難の妨げとなりそうなものには対策を取りましょう。

## お部屋の家具の設置は大丈夫ですか



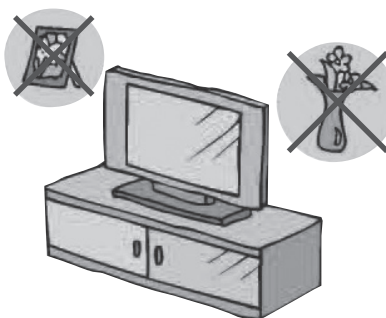
▼耐震金具をつけましょう

- ・棚には、留め金をつけたり滑り止めシートを敷いたりして、食器などが飛び出さないようにする。
- ・室内の状況に合わせて、転倒防止金具を付ける。
- ・上下に分かれている家具は固定する。



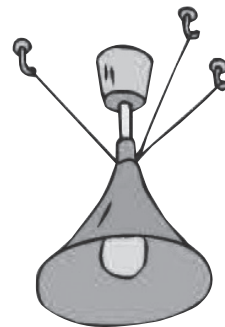
▼収納を工夫しましょう

- ・重いものは下に、軽いものは上に収納する。
- ・本棚などは、隙間をブックエンドで固定するなど、空間を作らないようにする。



▼落ちそうな物は置かないようにしましょう

- ・テレビはできるだけ低い位置で、粘着マットなどで固定する。
- ・落ちる危険のあるものを、家具の上に置かない。



▼照明器具を補強しましょう

- ・天井に直接取り付けられる照明を使用する。
- ・つり下げ式の照明は、鎖や金具を使って補強する。
- ・蛍光灯は、蛍光管の落下を防ぐため、両端を耐熱テープで留めておく。